

【資料3】

新唐津市民会館（仮称）利用計画

令和5年6月1日（木）
地域交流部 観光文化施設課

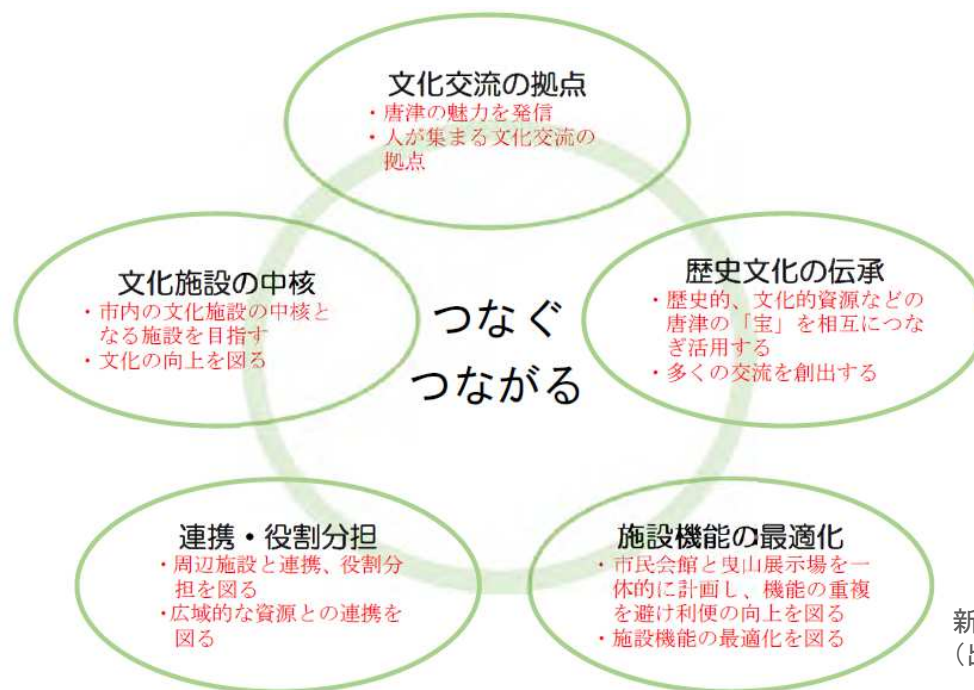
目 次

1. 利用計画作成の趣旨	…… 3	④体験・育成事業	……16
2. 利用計画の位置づけ	…… 4	⑤交流・連携事業	……17
3. 旧唐津市民会館（大ホール）の利用実績	…… 5	⑥発信事業	……18
4. 新唐津市民会館（仮称）に求める機能 （基本計画からの抜粋）	…… 9	6. 利用目標等	
5. 新唐津市民会館（仮称）の利用計画		（1）目標稼働率	……19
（1）基本的な考え方	……11	（2）目標達成に向けた取り組み	……20
（2）利用計画	……12	7. スケジュール	……23
① 施設提供事業（貸館）	……13	8. 運営体制	……24
② 創造支援事業	……14	【参考】他館の利用状況分析①	……25
③ 鑑賞事業	……15	【参考】旧会館の利用状況分析	……26
		【参考】他館の利用状況分析②	……27
		【参考】新会館の利用推計	……28

1. 利用計画作成の趣旨

本利用計画は、現地建替えによる再整備を予定している新唐津市民会館(仮称)の大ホール(諸室の利用、共用部ロビー等についても一部含む)について、具体的にどのような利用を想定しているのか、また、どのような利用ができるのかを、市民や利用者に分かりやすく示すために作成するものです。

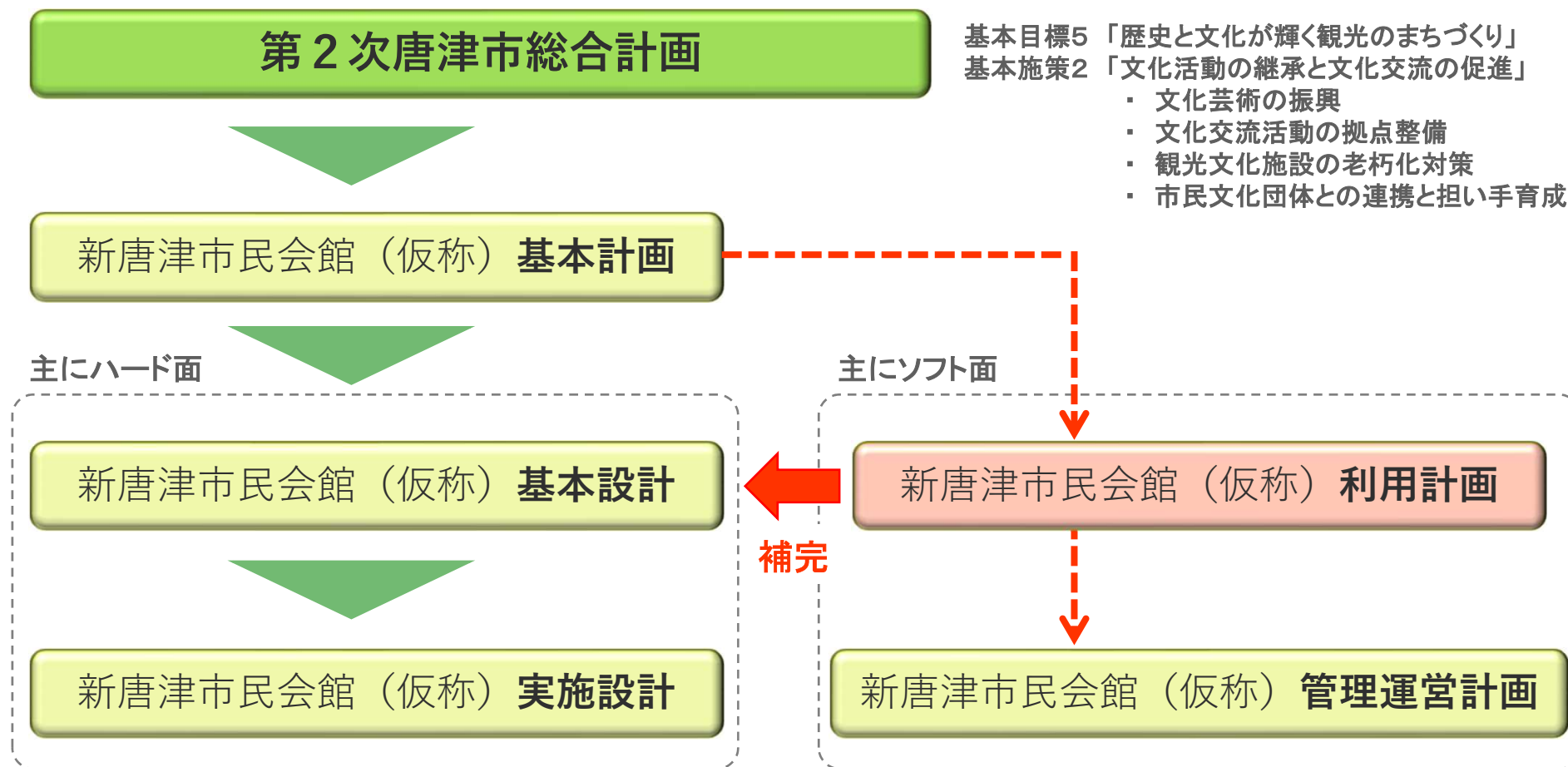
施設の配置や備えるべき機能など、主にハード面の整備について定める基本設計・実施設計に対し、本計画では、施設の利用に関する考え方や、具体的な利用方法など、主にソフト面について定めています。



新唐津市民会館(仮称)の基本理念
(出典:新唐津市民会館(仮称)基本計画)

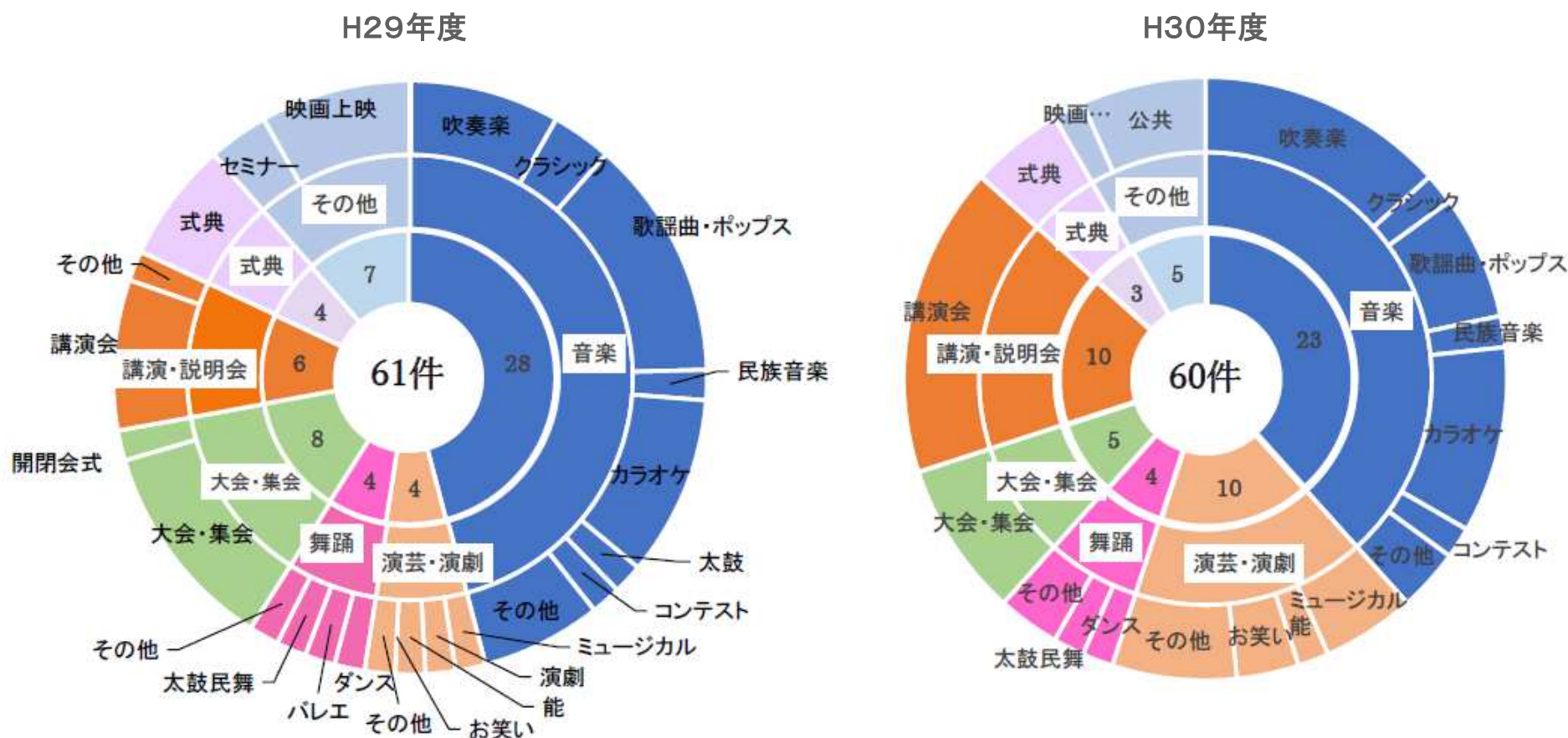
2. 利用計画の位置づけ

新唐津市民会館(仮称)利用計画は、基本計画に基づき、基本設計・実施設計で示される施設計画(ホール計画)の内容を、主にソフト面から補完する役割を担うとともに、今後、施設の管理運営計画を策定するに当たっての指針となる計画です。



3. 旧唐津市民会館(大ホール)の利用実績

新唐津市民会館(仮称)の利用計画案を作成するに当たり、そのベースとなる旧唐津市民会館(大ホール)の直近3か年(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う催事の中止による影響を考慮し、H29～R元年度までの3か年とする)の利用実績は、次のとおりです。 ※本番利用のみ

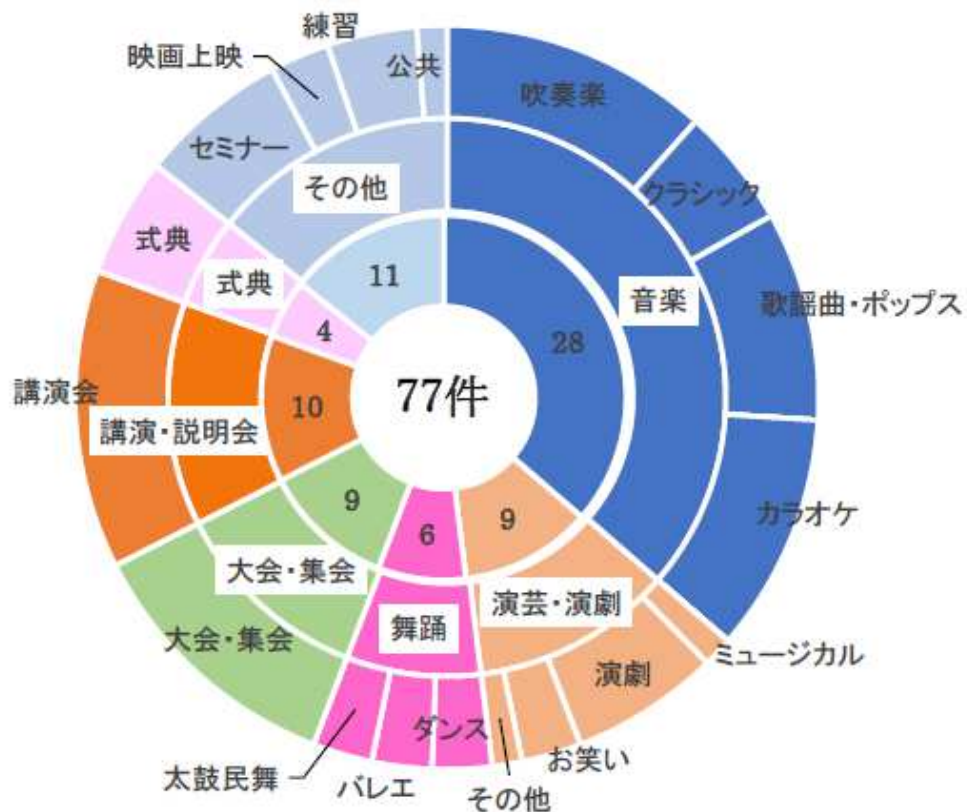


出典:新唐津市民会館(仮称)基本計画

3. 旧唐津市民会館(大ホール)の利用実績

直近3か年における利用実績では、「音楽」が最も多く、約4割の利用があり、次いで、「講演・説明会」、「演芸・演劇」となっています。

R元年度



直近3か年(H29年度～R元年度)の年間平均利用件数

利用ジャンル	利用件数 (3か年平均)	割合
音楽	26.3 件	<u>39.8 %</u>
演芸・演劇	7.7 件	11.7 %
舞踊	4.7 件	7.1 %
大会・集会	7.3 件	11.1 %
講演・説明会	8.7 件	13.2 %
式典	3.7 件	5.6 %
その他	7.7 件	11.7 %
合計	66 件	100 %

利用件数(3か年平均)は、利用ジャンルごとに算出(小数点第2位を四捨五入)

3. 旧唐津市民会館(大ホール)の利用実績

直近3か年における利用ジャンル別の主な演目は、次のとおりです。

利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目
音楽	吹奏楽	唐津地区吹奏楽祭 (約500~700名) 唐津工業吹奏楽部定期演奏会 (約100名)	演芸・ 演劇	ミュージカル	劇団飛行船公演 (約700~800名)
	クラシック	日本フィル九州公演唐津演奏会 (約800名)		演劇	劇団四季クリスマス チャリティ公演(約750名) 梅沢富美男劇団特別公演 (約800名×2回)
	歌謡曲・ ポップス	唐津ジュニア音楽祭(約600名) 音育エイド(約200名)		能	唐津・能と狂言 (約1,000名)
	演歌	前川ファミリー(約1,200名) 三山ひろし(約900名×2回) 島津亜矢(約700名×2回)		お笑い	ものまねヒットパレード (約1,000名) 綾小路きみまろスーパー ライブ(約1,200名)
	カラオケ	歌謡教室カラオケ発表会 (約350~1,000名)		その他	市内幼稚園チャリティー コンサート(約1,000名) 唐津西高校芸術鑑賞会 (約600名)
	合唱	唐津市児童生徒音楽会 (約3,000名)			
	その他	陸自西部方面音楽隊巡回演奏会 (約1,000名) 早稲田佐賀文化祭(約1,000名)			

3. 旧唐津市民会館(大ホール)の利用実績

利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目
舞踊	ダンス	NNPダンス発表会 (約800名)	大会・集会	大会・集会	老人クラブ連合会年次大会 (約1,000名) 政治家決起大会 (約500名～1,000名) JF女性部大会(約800名) JA女性部大会(約850名)
	バレエ	ballet and beyond 発表会 (約900名) 市民文化祭「秋のバレエコンサート」(約300名)			
	太鼓民舞	太鼓・民舞フェスタ (約700名) 唐津港太鼓 ジュニアコンクール(練習)	利用ジャンル		主な演目
	日本舞踊	藤菊会、花祐会	講演・説明会	講演会	大隈記念講演会(約1,000名) 同和問題講演会(約600名)
	その他	松浦文連文化祭チャリティショー(約700名)		その他	唐津南高校課題研究発表会 (約450名)
利用ジャンル		主な演目	利用ジャンル		主な演目
式典	式典	戦没者追悼式(約400名) 消防出初式(約1,200名) 成人式(約700～800名)	その他	セミナー	企業主催セミナー (約350～1,000名)
				映画上映	(自主)映画ドラえもん (約700名×2回)

4. 新唐津市民会館(仮称)に求める機能 (基本計画P24からの抜粋)

市民会館部門 (大ホール)

- (方針) ・唐津市の文化芸術の中核施設
 - ・市民が使いやすいホール
 - ・演劇、講演会、コンサートなど、様々な演目に対応する多目的ホール
- (規模) ・800人収容をベース(固定・可動席)
 - ・舞台は多目的に利用できるサイズ(幕形式、反射板形式)とする。
- (留意事項) ・搬入口は11トントラック1台が問題なく停車でき、舞台への搬入がスムーズに行えるよう計画する。
 - ・ホール用楽屋は、大・小の楽屋を各2室設ける。
 - ・客席の幅、前後間隔は近年のホールの標準以上とする。

市民会館部門 (リハーサル室、練習室)

- (方針) ・ホール公演のリハーサルだけでなく、小ホールとして小規模発表会、日常的な練習・会議などに利用することができるリハーサル室を設ける。
 - ・音楽・演劇・ダンスなどの練習利用、会議などに利用できる練習室を設ける。
(ホールの楽屋利用も前提とする。)
- (規模) ・リハーサル室はホールの舞台音響反射板内のサイズと同等以上とする。
 - ・練習室は、会議利用時に60人程度での利用が可能なサイズとする。
- (留意事項) ・各室は遮音性能を確保し、大ホール、展示場、その他諸室への影響のないつくりとする。

4. 新唐津市民会館(仮称)に求める機能 (基本計画P15,27,30からの抜粋)

共用・管理部門(共用ロビー他)

- (方針) ・各機能諸室へ容易にアクセスのできる共用ロビーを設ける。
・共用ロビーは外の広場とも連携した交流空間とする。
・売店、観光情報コーナー、フリーで利用できるスペースを設ける。
・共用トイレを設ける。(曳山展示場のトイレとしても利用を想定)
・市民会館のもぎり前待機スペースとしての利用も想定する。
・市民会館・曳山展示場両方の管理を行う管理事務室は、共用部から容易にアクセスできる位置とする。
- (共用部ロビーへの展示)
- ・市民会館と曳山展示場の両方のロビーとなる共用ロビーを設け、観光・文化の情報コーナー・市民(市民団体)の展示スペース・売店などを配置する。
 - ・唐津の地理的環境、歴史的環境を位置図などで紹介する。
 - ・唐津の伝統芸能や祭りを分布図などで紹介する。
 - ・唐津の史跡や自然などの観光拠点を紹介する。
- (留意事項) ・ギャラリー利用ができる壁面の確保を図る。
・駐車場側(西側)からのアクセスにも配慮する。
・喫茶については、意欲的かつ自主的な民間事業者の参入の余地を持たせることができるか調査する。

5. 新唐津市民会館（仮称）の利用計画 （1）基本的な考え方

新唐津市民会館（仮称）基本計画では、多種多様な幅広い入館者のニーズに対応するため、新たな施設が目指すべき方向性を、次のとおり整理しています。

【基本コンセプト】（基本計画P7からの抜粋）

次世代へ向けた文化芸術の創造発信地（文化創造都市 唐津）

文化芸術により市民に安らぎや活力を与える場として、**優れた文化芸術**に触れることによって、市民による自主的な文化芸術活動を促進し、**市民の創造性や表現力**を生み出すことを目指します。

文化芸術活動が盛んになると同時に文化交流、地域間交流、世代間交流など**様々な交流**が生まれ、**福祉の増進、まちの賑わい**や活性化につなげていくことを目指します。

唐津に誇りを持ち続けられるように、**将来を担う人材や団体の育成**に力を注ぎます。また、そこから生み出される文化芸術が持つ力と唐津の伝統文化とが連動して、広く唐津の魅力を発信することができる**文化交流の拠点**を目指します。

貸館事業

①施設提供事業

②創造支援事業

③鑑賞事業

④体験育成事業

⑤交流事業

⑥発信事業

自主事業

5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)利用計画

基本コンセプトの実現に向け、貸館事業(①施設提供)と、5つの自主事業(②創造支援、③鑑賞、④体験・育成、⑤交流・連携、⑥発信)に積極的に取り組めます。

事業区分	事業の考え方	実施が期待される項目(例)
① 施設提供	市民の既存の文化芸術活動に対し、活動の場を提供する事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術活動への場の提供 文化芸術活動の利用に限定しない施設の利用促進
② 創造支援	市民の既存の文化芸術活動を、さらに発展させるための支援を行う事業	<ul style="list-style-type: none"> 新唐津市民会館(仮称)を舞台に、新しい文化芸術活動を行う場合の相談対応 施設利用に関する相談窓口の設置 文化芸術団体・人材情報の集約・ネットワーク化
③ 鑑賞	市民の文化芸術への関心を高める事業	<ul style="list-style-type: none"> 優れた文化芸術の鑑賞機会の提供 市民(市民団体)や興行団体、新聞社、放送局などとの連携による鑑賞機会の提供
④ 体験・育成	市民が、新たに文化芸術活動を始め、きっかけを作る事業	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動のすそ野を広げる取り組み 施設に親しんでもらうための取り組み
⑤ 交流・連携	市民と文化芸術活動団体、また、団体間の交流を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が集まりやすいイベント等の実施 唐津文化芸術祭(仮称)の実施 新しい文化交流の創出
⑥ 発信	本市における文化芸術の取り組みや、本市の魅力を発信する事業	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 市民が気軽に参加・参画できる予約システムの構築

5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－① 施設提供事業

文化芸術活動の活性化

- ・ 市民や文化団体等の幅広い文化芸術活動、および文化芸術活動の活性化に寄与する市外団体の取り組みに対して、場や備品を貸し出します。
- ・ 市民の文化芸術活動の活性化を目的とした場の提供を優先的に行うものの、予約が入っていない場合などは、施設の使用料収入確保のため、文化芸術活動の利用に限定せず(例えば、事業者の会議や会合、営利目的の利用等も含めて)施設の利用促進を図ります。

取り組みのイメージ

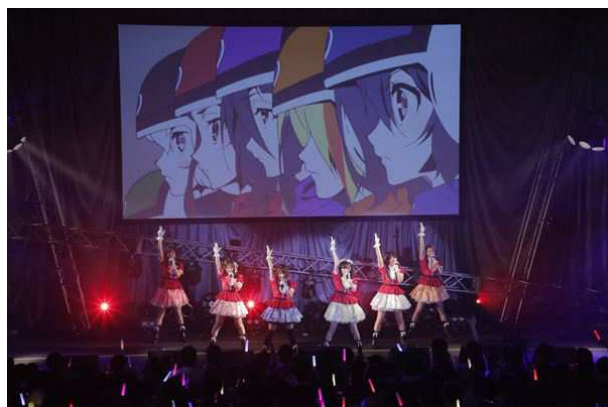


5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－② 創造支援事業

新しい文化芸術の創造

- 新唐津市民会館(仮称)を舞台に、新しい文化芸術活動を行う場合や、ホール、リハーサル室等を使った市民の発表活動について、広報、制作、舞台技術、専門家紹介などのアドバイスが提供できる相談窓口を設置します。
- 地域の資源や人材を発掘し、人材交流やコーディネートを行います。

取り組みのイメージ



唐津市民150名が道る虹／松原一揆

唐津市民劇公演

一滴の血を見る事もなく
百姓一揆を成功させた
富田才治の物語

まつらのふうじん

末盧の
風神

演出・音楽
富田カツオ

この事業は平成18年度 発掘型地域活性化事業の補助を受けております。

10月21日(土)唐津市民会館

◎12:30開演 13:00開演
◎17:30開演 18:00開演

観覧券大人2,000円 中高生1,500円
小学生 (2,500円) (2,500円)

■チケットの発表会場：新唐津市民会館、アルビノ、近海津観光協会
■上址：唐津市民劇実行委員会 事務局 唐津市・唐津市民会館5階 近海津観光協会
■問い合わせ：093-5281-4024

KARATSU
Real Live
POWER
FESTIVAL

唐津の音楽、アーティストパワー弾ける2日間

Special Guest

佐藤和雄 山崎賢一 トクヒサレナ 本多野郎 (W.A.) VPRO WINDS Fantazm

Day1 TIME TABLE Day2

会場 / 唐津市ふるさと会館アルビノ
観覧料 / 入場無料 【中央半野外スペース】 ※雨天決行
時間 / 4日 10:00開場 11:00-20:00
5日 9:00開場 10:00-20:00
キッチンカー等 出店有

12.4 SAT - 5 SUN

5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－③ 鑑賞事業

文化芸術への関心度向上

- ・ 音楽、演劇、舞踊など、あらゆるジャンルの優れた公演の鑑賞機会を提供します。
- ・ 唐津にゆかりのあるアーティストや文化人による演奏会や講演会等を実施します。
- ・ より多彩な作品の鑑賞機会を提供できるよう、市民団体や興行事業者とも連携し、共催公演、提携公演などを実施します。

取り組みのイメージ



5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－④ 体験・育成事業

新たに文化芸術活動を始めるきっかけづくり

- 文化芸術活動のすそ野を広げる取り組みとして、ホール公演の前後で、教育機関や福祉施設などへのアウトリーチ活動を展開します。
- 市民に施設に親しんでもらうための取り組みとして、公開リハーサルや、バックステージツアー、各種ワークショップなどを実施します。
- 市内の中高生がクラシック公演、展覧会、演劇などの企画や運営に携わることにより、文化を通してマネジメントのノウハウを学ぶアートマネジメント教育を導入します。

取り組みのイメージ

能ワークショップ(プロの能楽師による出張WS)



公開リハーサル



バックステージツアー



アートマネジメント教育(中高生による企画運営)



5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－⑤ 交流・連携事業

文化交流の促進

- ・ 文化芸術に興味や関心がない市民や観光客も行ってみたいと思うイベント等を開催します。(フリーマーケット、特産品市場、展示会等)
- ・ 市内の観光文化施設や中心市街地などが連携した唐津文化芸術祭(仮称)を開催します。(唐津市民文化祭をリニューアルして、市をあげた文化芸術の祭典)
- ・ 文化芸術を幅広く捉え、MICE、音楽コンクール、e-スポーツ大会等、これまで利用されたことのない演目の誘致により、新しい文化交流を創出します。

取り組みのイメージ



学会(分科会)やシンポジウムの誘致



e-スポーツ大会

5. 新唐津市民会館(仮称)の利用計画 (2)－⑥ 発信事業

唐津の魅力発信 施設の利用促進

- 唐津が築き上げてきた歴史や文化芸術を発信し、継承する拠点とします。
- 公演や展示のリモート・ライブ配信を実施します。
- 老若男女問わず、多くの市民が気軽に参加・参画できるよう、SNSやHPを活用した情報発信と、施設予約システムを構築します。

取り組みのイメージ



6. 利用目標等 (1) 目標稼働率

新唐津市民会館(仮称)大ホール目標稼働率 55%

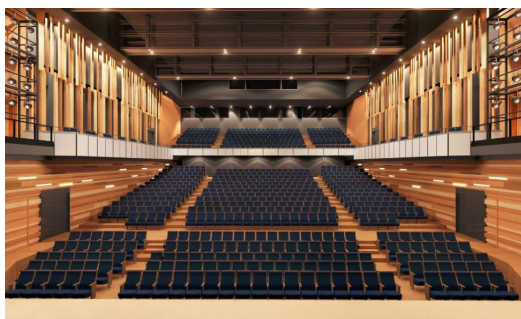
全国(国公立)の類似施設1,842施設のうち、最大ホールの席数が500席~1,000席未満である700施設の年間平均ホール稼働率が55.0%^{※1}であることから、新唐津市民会館(仮称)の大ホールの目標稼働率を55%とします。

※1 公益財団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂ホールの稼働状況に関する調査研究報告書」
(目標稼働率については、コロナ禍前の数値を元に設定しています。)

【参考】



- 佐賀市文化会館 開館日:1989年10月1日(築33年)
 - ・中ホール(収容人数: 814席)
 - 演劇を主とした多目的ホール
 - 年間利用率 68.94%(R3年度)



- 柳川市民文化会館 開館日:2020年12月20日(築2年)
 - ・大ホール(収容人数: 803席)
 - 音楽を主とした多目的ホール
 - 年間利用率 68.51%(R3年度) ※キャンセル前利用率
 - 41.23%(R3年度) ※キャンセル後利用率

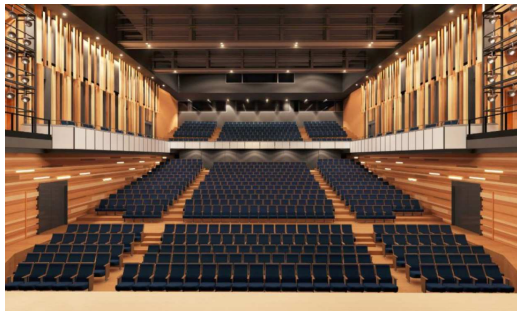
6. 利用目標等 (2) 目標達成に向けた取り組み

※各取り組みによる直接的な効果を、稼働率の向上【稼働率】、安定した運営【運営】、文化芸術の土壌づくり【普及】に分類しています。

九州管内の類似ホールとの連携 【稼働率、運営】

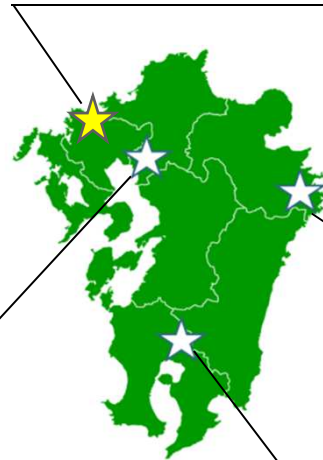
- 九州管内の類似ホールが、事業(公演等)の企画・誘致等の情報交換や、連携強化を図ることを目的とした「九州類似ホール情報交換会」に加入します。
- 複数の施設(ホール)が連携することで、(一財)地域創造の助成金の獲得を目指します。

取り組みのイメージ



柳川市民文化会館

新唐津市民会館(仮称)



霧島国際音楽ホール



さいき城山桜ホール



6. 利用目標等 (2) 目標達成に向けた取り組み

オフィシャルパートナーの募集 【運営】

- 地元企業や団体等が、文化芸術事業への協賛を通じて、地域の文化の振興をサポートする制度を構築します。
- オフィシャルパートナーには、協賛金の額の区分に応じた各種特典を検討します。

取り組みのイメージ



佐賀市文化会館(13社)

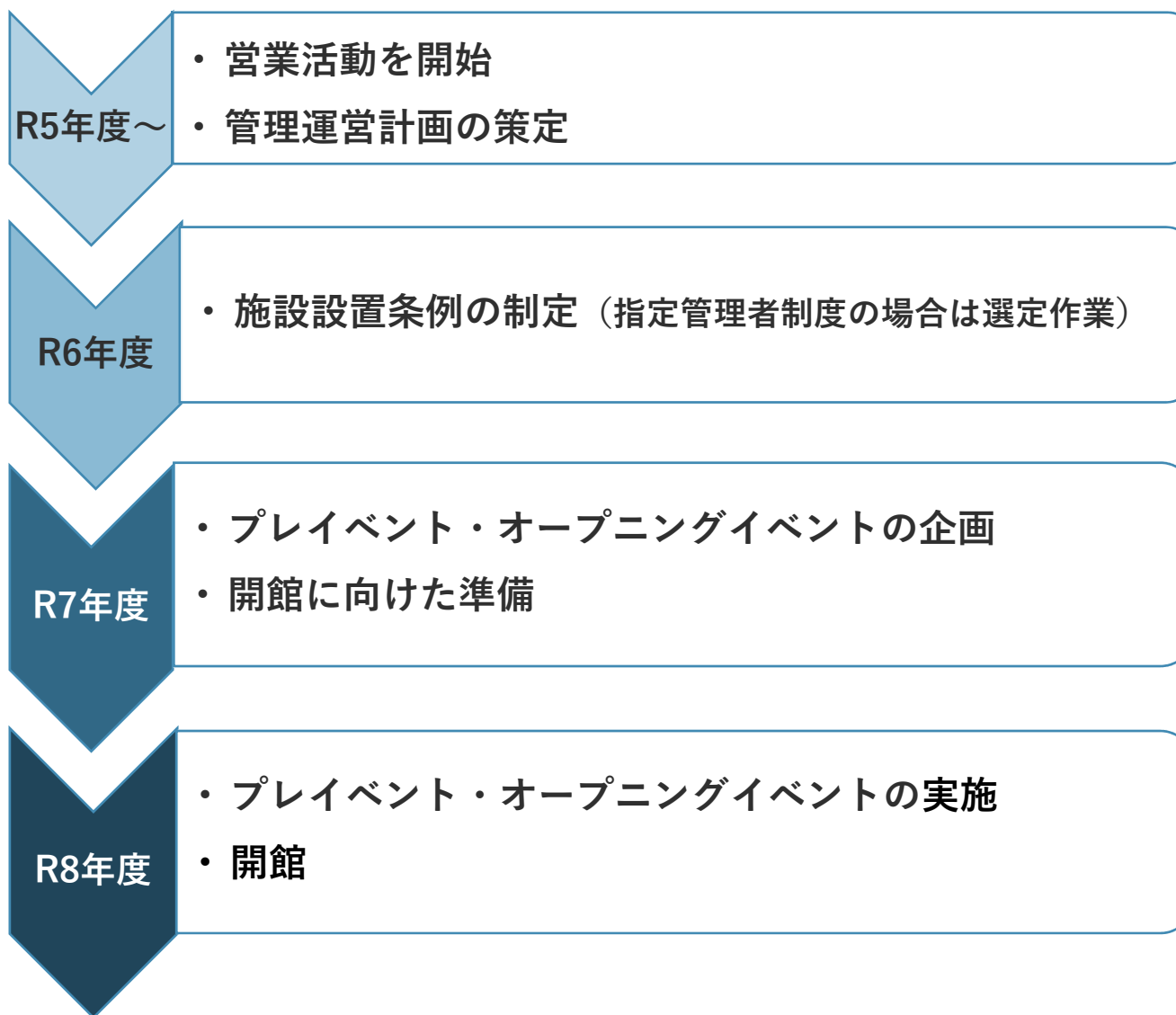


月刊誌(催物案内誌)

(佐賀市文化会館の例)

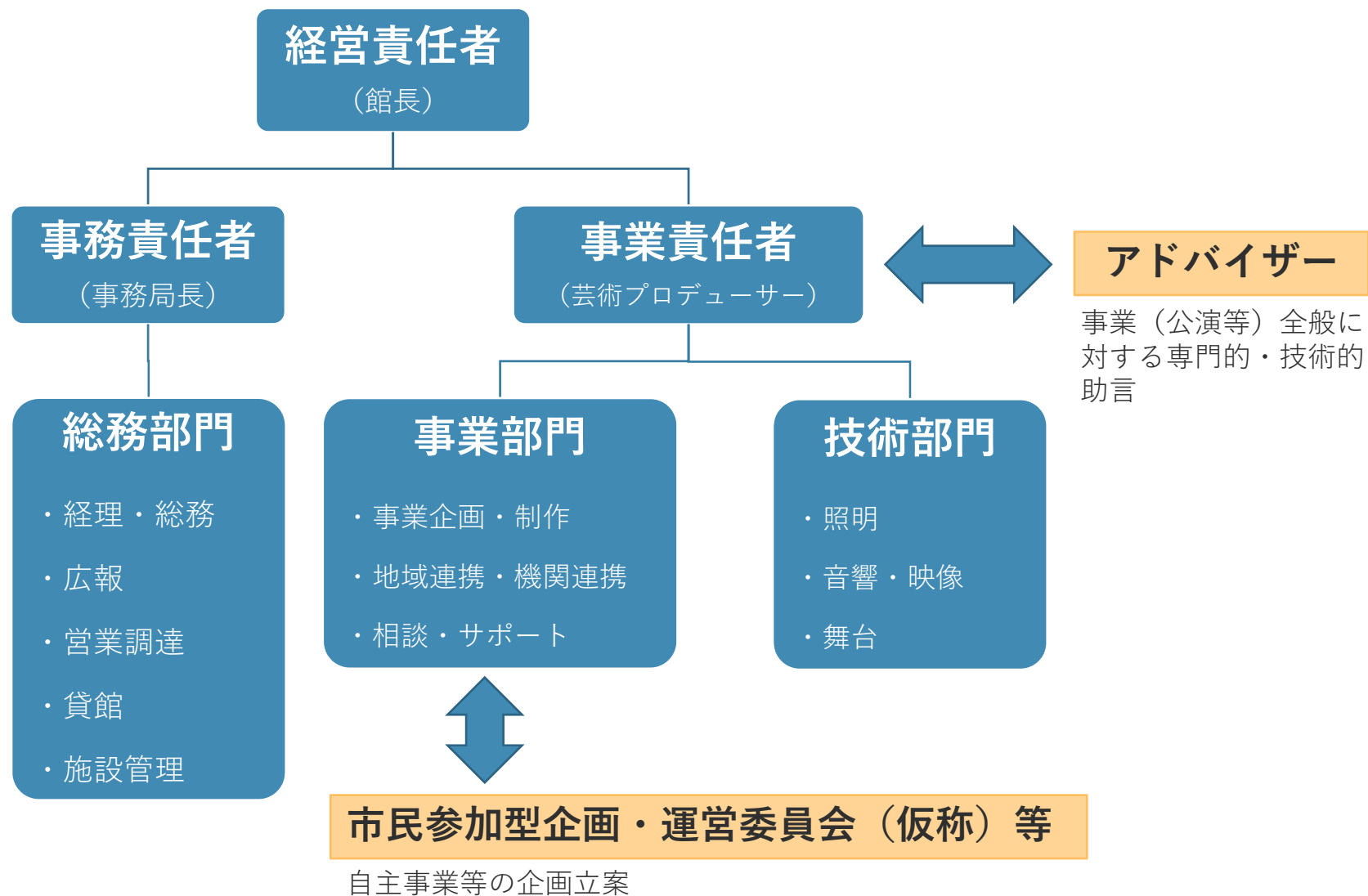
- 協賛金の額を10万円、25万円、50万円の区分に設定している。
- 協賛企業等に対して、チラシ、ポスター等への広告スペースを提供している。
- 会館が発行する月刊誌への企業チラシ等のポスティングが可能。
- また、公演の会場や内容を確認いただく趣旨で、招待チケットを配布。
(協賛金の額により枚数を調整)

7. スケジュール



8. 運営体制

◆運営体制のイメージ



【参考】他館の利用状況分析①

◆佐賀市文化会館(中ホール)の利用状況分析

- ・ホールの特徴 : 演劇を主とした多目的ホール
- ・ホール最大席数 : 814席
- ・R3年度年間利用率 : 68.94%
- ・R3年度入場者数 : 39,669人(1利用日あたり178.7人)
- ・条例上の休館日 : 12月29日～1月3日(計6日間)
- ・ホール利用可能日 : 322日=365日-6日-37日(保守点検・修理日)



	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9
利用日数	20	9	12	27	24	15
利用可能日	28	26	26	30	27	25
利用率	71.43%	34.62%	46.15%	90.00%	88.89%	60.00%

	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R3年度計
利用日数	20	24	23	6	14	28	222
利用可能日	30	28	25	20	27	30	322
利用率	66.67%	85.71%	92.00%	30.00%	51.85%	93.33%	68.94%

※利用日数222日のうち、本番利用回数111回。

※111回の演目別内訳: 音楽41回(36.94%)、講演・大会39回(35.14%)
演劇19回(17.12%)、舞踊・芸能12回(10.81%)

※111回のうち、自主事業数: 10回(9.01%)

【参考】旧唐津市民会館の利用状況分析

◆旧唐津市民会館(大ホール)の利用状況分析

- ・ホールの特徴 : 多目的ホール
- ・ホール最大席数 : 1,202席
- ・H30年度年間利用率 : 35.8%
- ・H30年度入場者数 : 46,581人(1利用日あたり366.8人)
- ・条例上の休館日 : 12月29日～1月3日(計6日間)
- ・ホール利用可能日 : 355日=365日-6日-4日(電気点検等)



	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	
利用日数	2	3	10	15	8	9	
利用可能日	30	31	30	31	31	30	
利用率	6.67%	9.68%	33.33%	48.39%	25.81%	30.00%	
	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H30年度計
利用日数	8	14	9	12	20	17	127
利用可能日	31	28	26	28	28	31	355
利用率	25.81%	50.00%	34.62%	42.86%	71.43%	54.84%	35.77%

※利用日数127日のうち、本番利用回数60回。
 ※60回の演目別内訳: 音楽23回(38.33%)、講演・大会18回(30.00%)
 演劇10回(16.67%)、舞踊・芸能4回(6.67%)、その他5回(8.33%)
 ※60回のうち、自主事業数: 4回(6.67%)

【参考】他館の利用状況分析②

◆佐賀市文化会館(中ホール)の自主事業 (R3年度中ホールにおける自主事業回数 : 10回)

回数	ジャンル	公演名	公演日	入場者数(人)
1	音楽	気軽にクラシック 市原愛ソプラノ・リサイタル	R3.4.24	99
2	音楽	渡辺貞夫カルテット2021	R3.6.16	316
3	音楽	気軽にクラシック 出田りあ&村治佳織デュオコンサート	R3.7.6	364
4	音楽	気軽にクラシック 酒井有彩ピアノ・リサイタル	R3.9.18	189
5	音楽	鼓童 ワン・アース・ツアー	R3.11.20	381
6	音楽	NAOTO&清塚信也 アコースティック デュオコンサート	R4.2.13	735
7	演劇	佐賀ユーモア劇場2022	R4.3.6	228
8	演劇	柳家権太楼 独演会	R4.3.9	85
9	音楽	ブラス・クインテット・ベルエキップ	R4.3.11	52
10	音楽	ティータイムクラシック 山田武彦ピアノ・リサイタル	R4.3.14	40
合計				2,489
平均(1回あたり)				249

※自主事業(主催事業)の経費 約150万円/回 (R3年度平均値を聴き取ったもの)

【主な経費の内訳】 ①広告宣伝費 ②賃金(公演対応のスタッフ)
③印刷製本費、消耗品費、器具代など ④出演料

【参考】新唐津市民会館(仮称)の利用推計

新唐津市民会館(仮称)大ホール目標稼働率 55%

- ・利用可能日(想定) : 355日
 - ・ $355日 \times 55\% = 195.25 \div$ 「196日」稼働で目標達成
 - ・旧会館の実績、佐賀市の事例より、(本番利用 : 練習利用 = 1 : 1) で考える。
 - 貸館事業**は、練習、本番あわせて年間180日の利用を目指す。
(本番利用 : 練習利用 = 90日 : 90日)
 - 自主事業**は、年間約20日の利用を目指す。
(本番利用 : 練習利用 = 10日 : 10日)
- ⇒稼働目標日数 : 200日 (貸館事業180日、自主事業20日)

●貸館事業

・施設提供事業・・・本番利用の想定日数(計90日)

例) 音楽35日、講演・大会27日、演劇16日、舞踊・芸能6日、その他6日

●自主事業

・鑑賞事業 他・・・本番利用の想定日数(計10日)

例) あらゆるジャンルの公演の実施

ワークショップやアウトリーチ活動の実施

唐津文化芸術祭の実施、イベントの開催等も想定